

良子さんの ほっと一息ティータイム

子育てと学ぶこと

熊谷良子 vol.12

子どもの成長に伴って、関心や悩みの内容は変化していきます。
乳幼児のときは、発達やあそび、食事、生活習慣などであり、
学齢期になると勉強や習い事、不登校・いじめなど幅広くなり、
思春期・青年期には進路や生き方、非行や性を含めた関係性の問題などがあります。

子どものよき理解者でありたいという願いが根底にあり、
一方で「ちゃんと育てなければ」という責任感から、「ちゃんと」できていないことに悩み、
「ちゃんと」できるための方法や手がかりを探し求めます。
しかし、子どもの成長は早く、要求は目まぐるしく変化していくので、
次々に新しい子育ての課題が生じます。
さらに、家族や夫婦のあり方や社会も多様化していることから、情報収集は多岐にわたります。
ここで頑張りすぎると自分を責めてつらくなります。

私の周りの特に女性たちは、
動機は不安や必要に駆られて求めた学びであったとしても、
同じような悩みを抱える人たちと出会い、語り、考え、分かち合ってきました。
それは、自分を見つめ直す力や自己成長させる原動力となり、視野が広がる契機となります。
子育てを通して、自ら学び続けながら、自己更新をしているのです。
一歩踏み出す先に、生活と密着した生きた学びがあるはずですよ。

